

事業実施状況指定管理者自己評価票（令和6年度）

施設名	国分寺市立 第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一・第二・第三日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 基本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
収支計画の実行状況	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	毎月収支計画を確認しながら実行している。
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されているか	3	日々の保育やその他の行事等も協定書を確認しながら実施している。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	規定通り守っている。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	毎月シフトを作成し、加配児童に対しては1ヶ月前に出欠席を確認し、当日の登所によって、必要な職員数を確保している。また、状況によっては人員を増やして対応している。
	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）が確保されているか	3	防火管理者について常に施設にいる現場の職員が資格を取り配置した。また、放課後児童支援員の資格も順次取得している。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	毎月市へ事業報告をし、他書類についてもファイリングしている。個人情報は鍵の係る書庫で保存している。また、必要な報告があれば合わせて行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	利用者が安心して利用できるよう整理整頓と清掃に力を入れている。修繕が必要な箇所は市に報告し、修繕を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法定点検や検査等、規定どおり実施している。
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうか	3	評価いただいた点については、今後も継続していく。また、保育内容や職員の対応についての意見については、真摯に受け止め、職員間で共有するとともに、利用者にとって安心、安全な学童保育所の運営に取り組んでいく。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	アンケート等で頂いた意見は職員間で共有し、改善策を考えサービスの向上に努めている。必要があるときには関係機関に相談する等の対応を行っている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	3	適切な態度やマナーを守るよう職員間で確認し合い、業務にふさわしい服装を心掛けている。新しい職員に対しては、法人で接遇研修を実施している。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	保護者の意見等は真摯に受けとめ、改善に向けて常に職員間で共有し、話し合いを行っている。また、市にも報告、相談を密にし、慎重かつ迅速に対応している。保護者や児童との信頼関係づくりを大切にし、怪我や気になること等、お迎え時や電話等で伝えるようにしている。
	個人情報が適切に取り扱われているか	3	書類は鍵付きの書庫にファイリングして保存している。パソコンは外部接続していない端末で管理し、持ち出せないように鍵をかけている。また、保護者とのやり取りや保護者の会とのやり取りの中での個人情報も慎重に取り扱っている。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	法人内で研修を企画・参加している。市や東京都などの法人外の研修にも積極的に参加している。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	在籍する全ての子どもたちが同じように活動に参加できるよう、日々話し合いを重ねている。児童の特性成長段階に合わせて、自立して生活できるよう環境を整えること、また、必要があれば保護者と面談をし、各関係機関の方とも連携している。
施設の特性に応じた評価	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
	自然災害等への対応	3	いかなる時でも児童及び職員が適切な行動ができるよう避難訓練を年間6回（火災想定2回、地震想定2回、不審者想定2回）実施した。
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	年に数回学級担任の先生方と情報交換を行い、子どもたちの変化により早く気づき対応できるよう努めている。校庭や体育館、空き教室をお借りしての保育を行う等、よい関係が築けている。地域の農家さんの協力を得て野菜の栽培と収穫、就労支援の施設で作られたお菓子の提供、工作的ボランティア、ピアノ演奏など、多方面で活躍する地域の方の力を借りて、様々な経験を通して地域の中での児童の育成ができた。また、放課後子どもプランのコーディネーターの方と会議や連絡を取り合い、協力、連携した。
	配慮を要する児童への対応について	3	特別な支援を必要とする児童に対しては、面談や送迎の時間等を活用し、より細かく児童の様子が伝えるよう努め、それぞれの成長過程に合わせた声かけや支援をした。食物アレルギーのある児童に対しては、年度初めに面談をし、保護者とおやつ提供の仕方を一緒に考え対応した。毎日のおやつは複数人で原材料を確認し、別皿で提供するなどの配慮をしている。

指定管理者の自己評価

総合評価	評価の理由等	
3	市の要求水準を満たしている	指定管理11年目となった。現場数が増え、他の事業者より引き継いだ現場もあったため、保護者の方からご意見をもらうことも多かったが、保護者とのコミュニケーションを取るよう心掛けていたこともあり、だんだんと理解を示して下さっていったように感じた。また、より良い保育を行えるよう、職員は研修を受講し、内容等を職員間で共有した。そのほか、他現場に入り、よい点は持ち帰り、改善すべき点は伝え合うことで、より良い学童保育所運営に努めた。保育のことや、対応に迷ったり、トラブルが起きたときには、法人内で共有、相談し、市にも相談、報告を密に行った。
		評価者氏名：吉田若菜